※令和４年度以降入学生用

学校番号	２００３

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学) 現代文読解演習Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「大学入試共通テスト演習　現代文」いいずな書店 「現代文速読トレーニング３」数研出版 「常用漢字　ダブルクリア　五訂版」尚文出版 「完成　日本文学史ノート　三訂増補版」啓隆社 「プレミアムカラー　国語便覧」数研出版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多様な種類の文章に対して、正確で概略的な把握ができるとともに、個々の部分に対して分析的な批評を加えることができるようになる。
・自分の考え、感想などを他者との交流を通して、適確に表現できるようになる。
・大学入試などで課せられる様々な問題にも対応できるようになる。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期（10月～3月）	会話表現に留意しながら、本文を読解する。 ［教材］ 「大学入試共通テスト演習　現代文」	a：対談形式で論理が展開する文章を会話表現に留意しながら読み解いている。 b[読む]：文章構成を学び、重要単語の役割を理解し、発問に取り組んでいる。 c：文章の展開について、考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	論の展開を把握し、文章の内容を図式化する。 ［教材］ 「大学入試共通テスト演習　現代文」	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b[書く]：書くことにおいて、「法」に関するあり方を段階ごとに読み取り、文章ごとにまとめたものを図式化している。 c：本文内容の正しい理解を踏まえ、法のあり方についての筆者の主要な見解を図でわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	心情の移り変わりを把握し、登場人物を理解する。 ［教材］ 「大学入試共通テスト演習　現代文」	a：情景描写など心情を理解する際に、重要視される表現に着目し、心情を読み取ろうとしている。 b[書く]：書くことにおいて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、登場人物の心情を書き出している。 c：内容や構成、論理の展開、表現法などを的確に捉え、心情把握に努めている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	・多様な資料を結び付け、関連性を見出す。 ［教材］ 「大学入試共通テスト演習　現代文」	a：様々な資料の重要部分を見分け、つながりを考え、筆者の主張を理解している。 b[書く]：書くことにおいて、主張を支える根拠や結論を導く論拠として資料を読み取り、関連性を要約している。 c：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間